

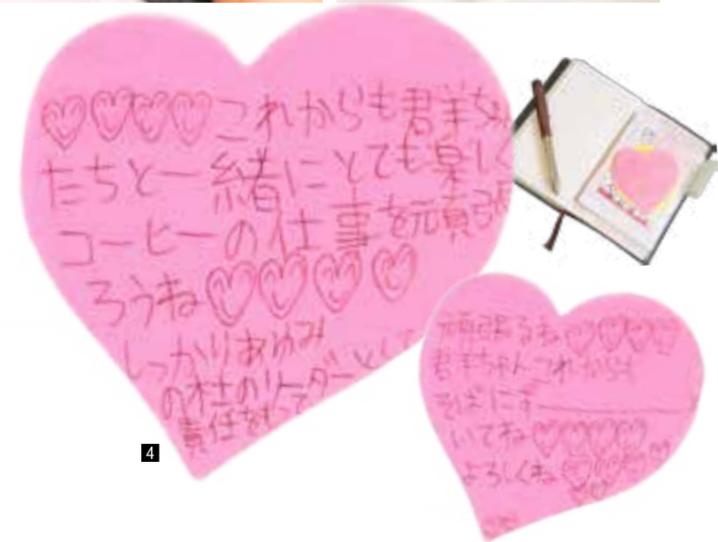


1

1・2 パッケージ袋に食品表示ラベルを貼る作業。専用の補助具を使い、テンボ良く丁寧に貼り進めていく利用者のYさん。3 衛生管理がなされた空間で、コーヒーの粉をドリップバッグに詰めていく利用者のAさん。グラム単位の繊細な調整を要するため、作業中の表情は真剣そのもの。4 利用者から石田さんへ毎日手渡されるお手紙。300通以上のお手紙は、いつでも見返せるよう手帳に挟んでいるという。



2 3



4

## The Challenged

したが、実際に作業が始まると、各々のハンディキャップやその日の体調によってマニュアル通りに上手いかなんかが多く、難しさを痛感した」という石田さん。それでも諦めず、利用者や支援員と力を合わせ、補助具を作るなどの試行錯誤を繰り返したといいます。結果、できなかった作業がひとつ一つできるように。「今では安定して作業・生産ができるようになってきました。人によっては『この作業を任せたら僕よりも上手』っていう利用者さんもあるんですよ」と、利用者たちの成長に、石田さんは思わず頬を緩ませます。

**居場所作りと工賃アップ 理想へと大きく「じゃんぶ」**

開所当時から通所している利用者のYさん。「じゃんぶ」の中では、周りを笑顔にさせるリーダー的な存在で、丁寧なラベルシール貼りに定評があります。一般的には、休みが嬉しいと感じる人が多い休日。Yさんは、「土曜日、日曜日、祝日：休みが嫌だ」と語るほど「じゃんぶ」が大好きだといいます。

「ここは私の家族みたいなおとろ。もらったお金を貯めて、みんなですソフトバンクの試合に行くのが夢です。これからもみんなで楽しく

コーヒーの仕事を頑張ります」。Yさんの純粋な想いと笑顔に、石田さんは優しい視線を向けます。「別の施設に馴染めず、『ここ』にたどり着いた利用者さんもあります。だからこそ、信頼関係を大切にして、利用者さんにとって気の休まる… Yさんが言うような家族のような環境にしていければと思っています。もちろん、自己実現に必要な工賃アップも絶対に諦めません。居場所づくりと、月額3万円台への工賃アップの両取りを目指して、今後も「じゃんぶ」で一致団結して、ミチフク珈琲の味と想いを皆さんに届けていきたいと思っています」。

### Information ▶ 「ミチフク珈琲」の販売案内

**現** 在「就労継続支援B型事業所・じゃんぶ」と赤池・金田・方城郵便局と不定期でイベント出店で販売しています。今月から新ブランド「福智山麓キセキの珈琲」を新発売。また、「じゃんぶ」でしか買えない商品も多数ありますので、ぜひあゆみの杜へお越しください。在庫状況などはお電話ください。

#### 【SHOP DATA】

住 所 ▶ 福智町神崎1533 (あゆみの杜)  
営業時間 ▶ 平日10:00～15:00  
電話番号 ▶ ☎ 0947-23-0903



**一口飲めば満ちる幸福 駆け出した新たな挑戦**

コーヒーの品種、精製、焙煎、粒度、粉量、湯温、湯量、抽出時間、デザイン、ストーリー……。どこをとつてもめんどくさいほどのこだわりをもって造られている「ミチフク珈琲」。強い信念を感じるその味からは想像できないアットホームな

雰囲気と、鼻をくすぐるコーヒーの芳ばしい香りが漂う、あゆみの杜「就労継続支援B型事業所・じゃんぶ(神崎)」で製造されています。障がいや難病というハンディキャップを抱える利用者6人が勤務する「じゃんぶ」は、昨年6月に開所したばかり。楽しく仕事しながらも経済的自立を実現するため、コーヒーの製造・販売に挑戦しています。

**諦めない創意工夫の先に 花が咲いた利用者の成長**

事業所の運営者であり、販売母体である「ミチフク珈琲」の代表を務める石田群さん。開所当時のことを「予想外の連続だった」と振り返ります。「開所するまでに生産方法を細かくマニュアル化し、ほぼ万全の状態で初日を迎えま



上の列④から、代表の石田群さんと職員の石田日奈子さん、下の列④から「じゃんぶ」に通う利用者のAさん、Yさん。

## Story 2 あゆみの杜「就労継続支援B型事業所・じゃんぶ」



# ミチフク珈琲

コーヒーが苦手な人でも「このコーヒーだったら飲める」と、注目を受けている「ミチフク珈琲」。幸福満ちる瞬間を生む一杯には、作り手と支える人の熱い想いが詰まっています。

